

令和5年度

令和6年度

# 決算・予算

〔速報版〕

令和6年6月

箕面都市開発株式会社



# 令和5年度決算の概要

## 1 令和5年度予算と決算を比較すると

- 営業利益、経常利益とも、**予算を上回り、経営は順調**でした。

## 2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回り**ました。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産<sup>(※1)</sup>を除いても、**大幅に増加**しています。
- いずれの利益(営業利益・経常利益、当期純利益)においても、**調停条項を大幅に上回り**ました。

(※1):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

## 3 今後の展望

- 調停条項を上回る順調な経営となっておりますが、**みのおサンプラザ1号館の敷地売却事業**が令和6年5月末に完了する予定で、文化・交流センターの北館・南館の指定管理受託は出来ましたが、収入源の要であるビル関連の事業や不動産賃貸収入の減少、駐車場事業の終了により大幅な減収となります。引き続き既存事業の見直しや組織の再編に加え、新たな収入確保に向けて検討を進めます。



令和5年度

# 決算

# 1. 令和5年度決算

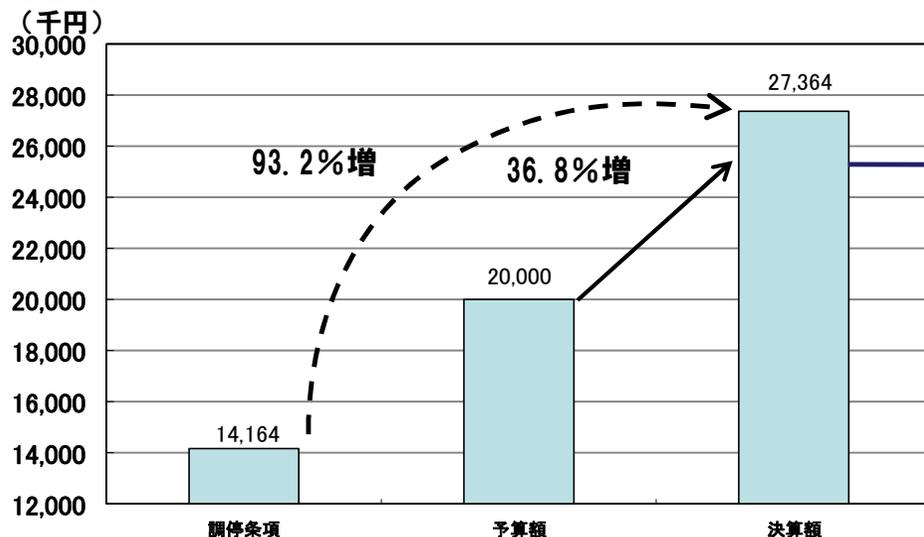
(単位:千円・%)

	令和5年度実績			令和5年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,074	128,000	130,596	2,596	2.0	24,522	23.1
営業利益	14,164	20,000	27,364	7,364	36.8	13,200	93.2
経常利益	12,625	17,927	25,781	7,854	43.8	13,156	104.2
当期純利益(※)	6,192	48,507	25,354	▲23,153	▲47.7	19,162	309.5
期末資金残高	83,024	284,612	152,076	▲132,536	▲46.6	69,052	83.2
純資産額	65,289	252,253	229,100	▲23,153	▲9.2	163,811	250.9

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは…税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

## 2. 営業利益（本業利益）の比較



決算においては、すべての項目において、調停条項を大幅に上回りました。

調停条項、予算額ともに上回りました。

### 要因

民間受託事業として、サンプラザ1号館敷地売却組合の事務局受託、新規購入床の賃貸、箕面商工会議所主催の市内販売促進事業の販売手数料収入等が増収となりました。  
引き続き人件費をはじめ費用削減に努めました。

### 3.貸借対照表

(単位:千円・%)

	令和4年度		令和5年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	550,110	100.0	559,610	100.0	9,500
流動資産	157,393	28.6	160,177	28.6	2,784
固定資産	392,717	71.4	399,433	71.4	6,716
有形固定資産	378,158	96.3	392,449	98.2	14,291
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	14,263	3.6	6,688	1.7	▲7,575
負債合計	340,956	62.0	329,002	58.8	▲11,954
流動負債	26,003	7.6	25,343	7.7	▲660
固定負債	314,953	92.4	303,659	92.3	▲11,294
純資産	209,154	38.0	230,608	41.2	21,454
純資産(繰延税金資産除く)	203,746	—	229,100	—	25,354

## 参考1：経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

### ★ 調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか

.....➔ **資金計画で判断することが適切**

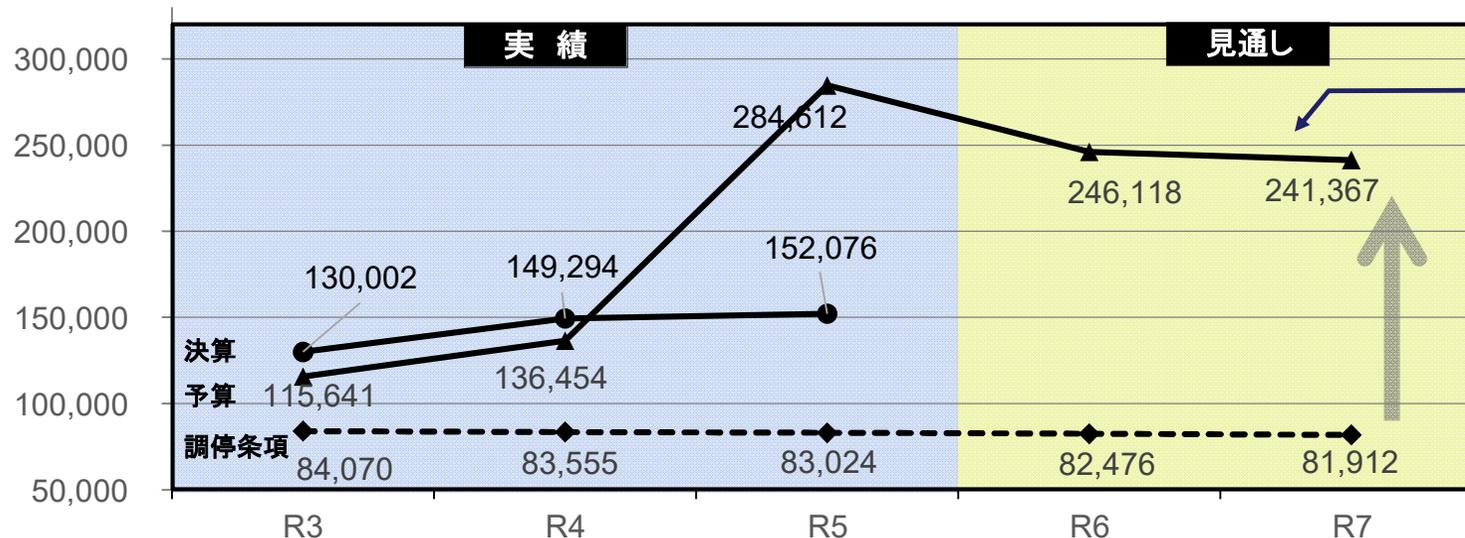
## 参考2：資金計画の見込み

### (1) 期末資金残高の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績				令和6年度	令和7年度
	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
調停条項	84,070	83,555	83,024	調停条項	82,476	81,912
予算	115,641	136,454	284,612	今後の見通し 令和5年度決算による	246,118	241,367
決算	130,002	149,294	152,076			

(千円)



令和6年度にみのおサンプルプラザ1号館建替えによる所有床売却で資金が増加します

15期連続で調停条項の推定推移を上回る予定です。

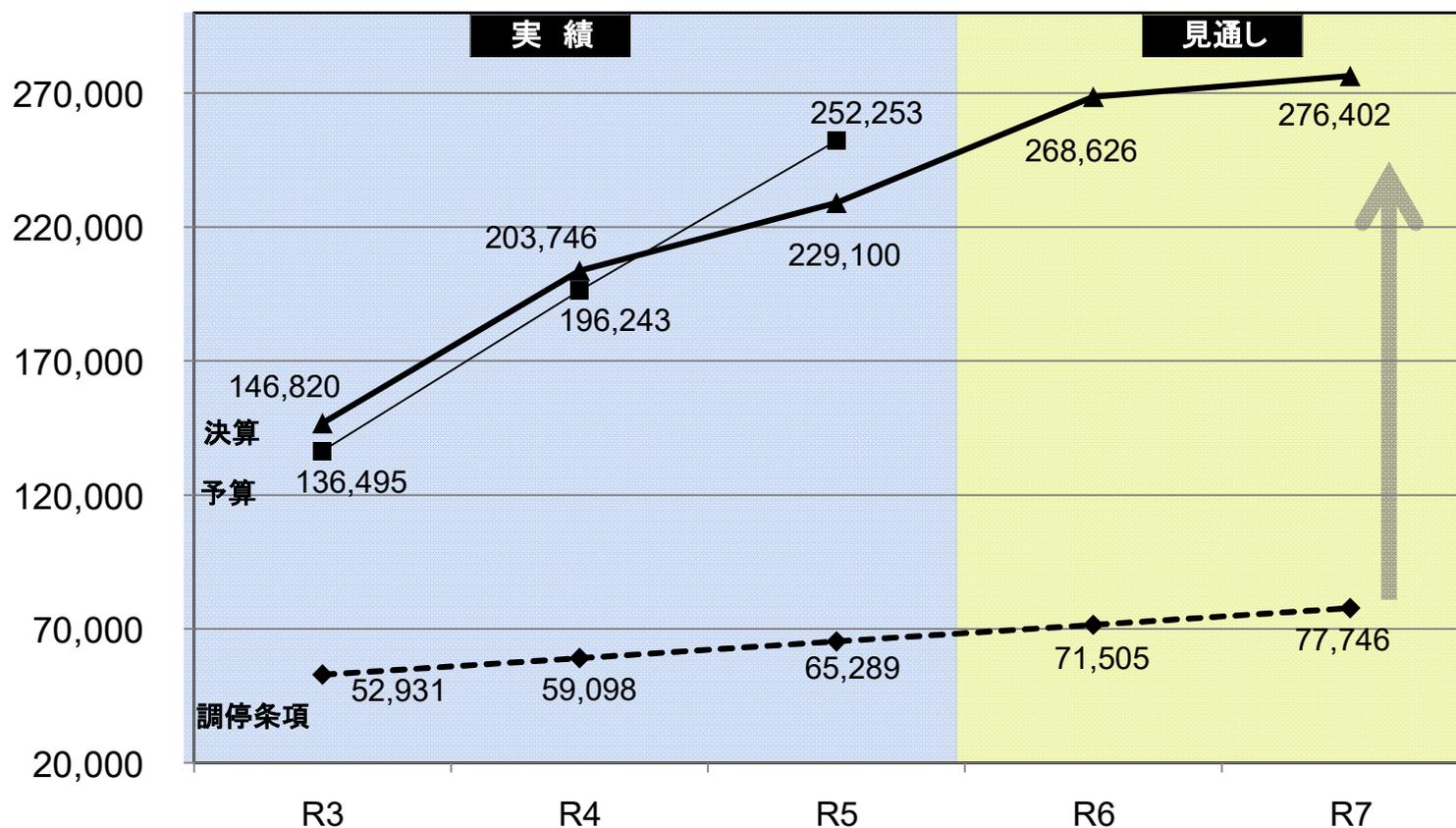
## (2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績				令和6年度	令和7年度
	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
調停条項	52,931	59,098	65,289	調停条項	71,505	77,746
予算	136,495	196,243	252,253	今後の見通し 令和5年度決算による	268,626	276,402
決算	146,820	203,746	229,100			

(千円)

(各数値は繰延税金資産を除いています)



調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。



令和6年度

予 算

# 1. 令和6年度予算と調停条項

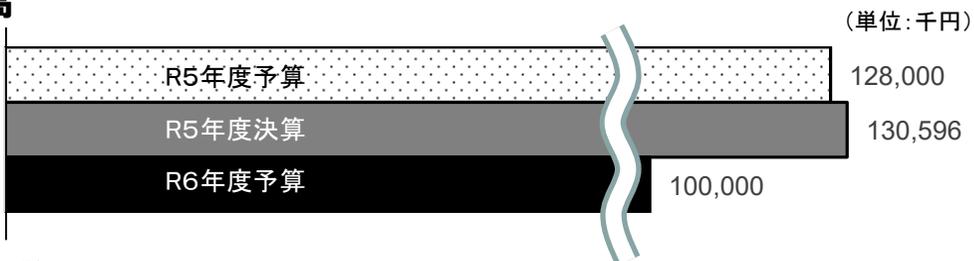
(単位:千円・%)

	調停条項 (令和7年3月期)		令和5年度 予算		令和6年度 予算		令和6年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	令和5年度 予算との増減率
売上高	106,074	—	128,000	—	100,000	—	▲5.7	▲21.9
受託料収入	64,990	—	80,902	—	66,602	—	2.5	▲17.7
所有床賃貸収入	9,000	—	8,629	—	4,958	—	▲44.9	▲42.5
土地賃貸収入	21,600	—	25,008	—	25,008	—	15.8	0
受取手数料収入	1,900	—	2,461	—	1,472	—	▲22.5	▲40.2
文化・交流C売上	8,584	—	11,000	—	1,960	—	▲77.2	▲82.2
営業利益	14,164	13.4	20,000	15.6	7,000	7.0	▲50.6	▲65.0
経常利益	12,667	11.9	17,927	14.0	5,000	5.0	▲60.5	▲72.1
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,216	5.9	48,507	37.9	39,527	39.5	535.9	▲18.5

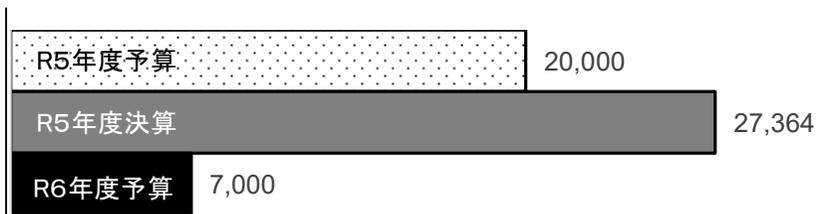
## 2. 売上高・利益の推移

- ・令和5年度決算においては当期純利益以外の利益は令和5年度予算を上回りました。
- ・令和6年度予算において、令和5年度決算と比較すると、サンプラザ1号館の売却により売上高及び、すべての利益は減少します。

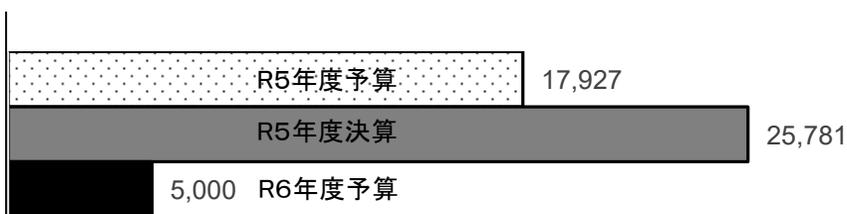
### ■売上高



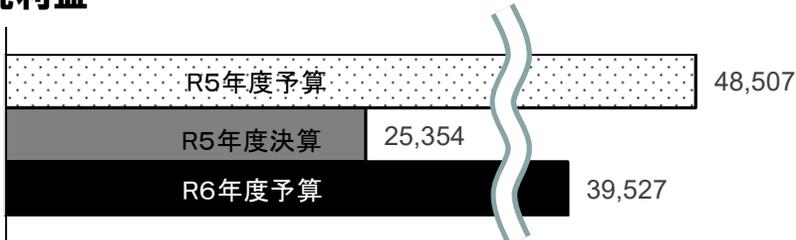
### ■営業利益



### ■経常利益



### ■当期純利益



### R5予算とR6予算の比較・主な要因

前年比21.9%減

- 民間受託事業の終了や、所有床売却による賃料収入の減少による

前年比65.0%減

- 売上高の減少による

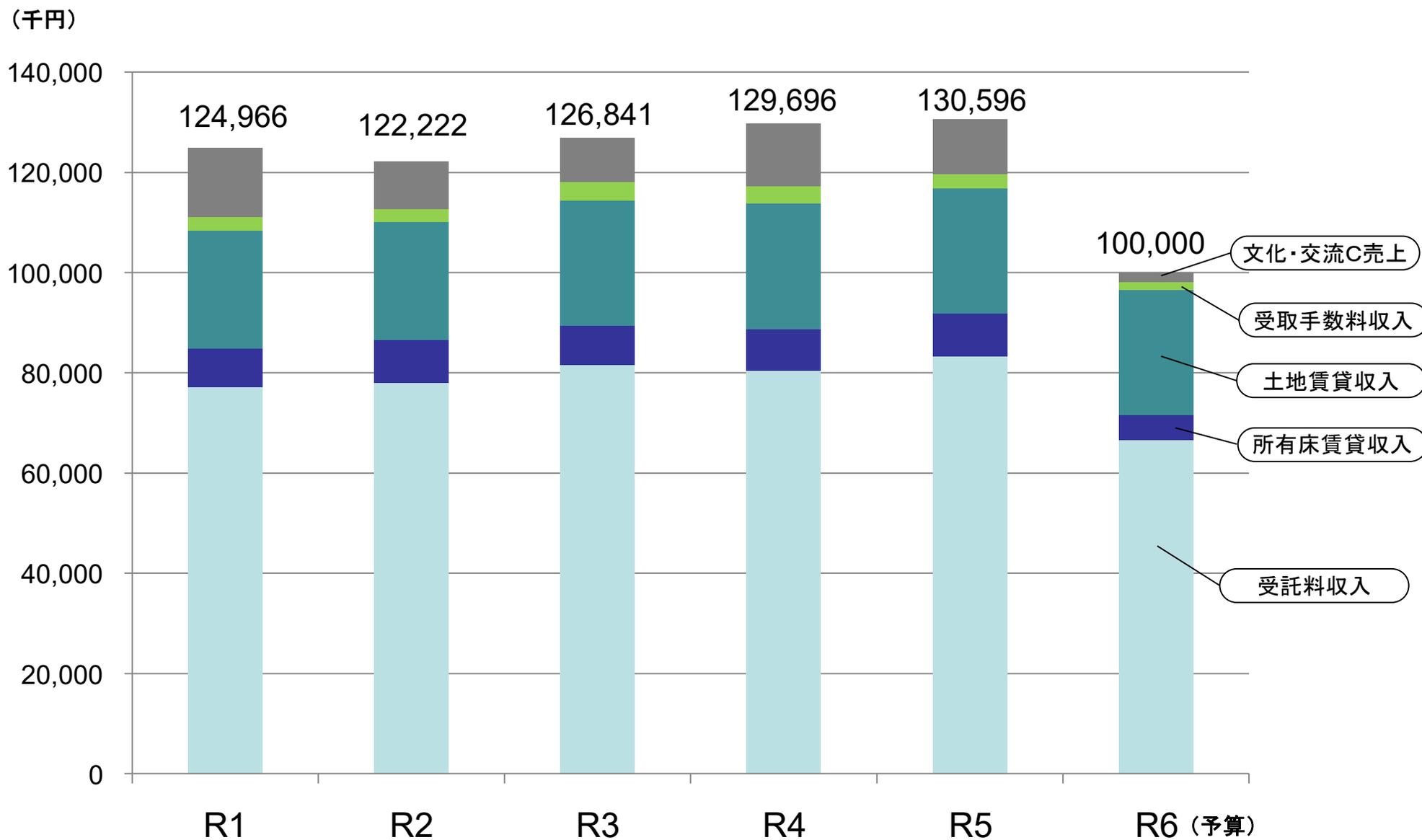
前年比72.1%減

- 営業利益の減益による

前年比18.5%減

- 令和5年度予算時に資産売却による特別利益増加を見込んだことによる

# 参考1：事業別売上高の推移



# 参考2：売上高増減の主な要因

